



事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

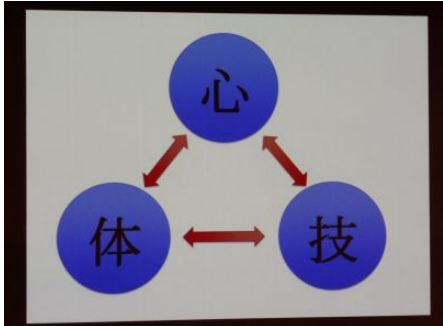
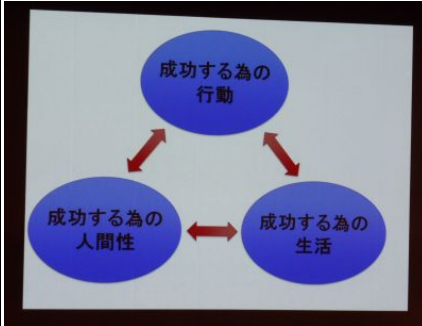
道府県・政令市名【 福岡県 】

築上町立椎田中学校

1 実践テーマ	【 I 】
2 実施対象者	築上町立椎田中学校 1年生81名 2年生86名 3年生75名 計242名（全校生徒）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（ キャリア教育講演会 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピックによる実体験を通して、これからの私たちの人生において必要なことを学び、今後の人生に向けての強い心を養い、やる気を起こす。 オリンピックの意義と偉大さを知る。
5 取組内容	○ 事前学習 鈴木桂治氏とは、どのような柔道家であるかということやシドニーオリンピックで活躍した選手等の動画を観ることで、オリンピックの偉大さや鈴木桂治氏の活躍した軌跡を知る。 ○ 講演会 一柔道家がオリンピックのメダリストに登り詰めるまでの努力の軌跡と人生を生きる上で大切なことは何なのかを学ぶ。 ・ 「できるかできないかではなく、やってみること」 (やる前から言い訳をしない) ・ 「受け身ではなく、やるべきことをしっかりとやる。心の持ちようでいくらでもレベルアップできる。」 ・ 「謙虚でなければ、強くなれない。人の話をよく聞き、自分のものにすることが成功するためには大切」
	 

>勝つために努力をする  
 >何のために戦うのか  
 >できるかできないかではなくやってみる  
 (やる前から言い訳をしない)  
 >1回やっでできなければ10回できなければ  
 100回1000回1万回  
 (できるまで続けることで自信や意地がつく)

オリンピックとは  
 >19世紀末クーベルタン男爵が古代ギリシアの  
 オリンピアン祭典をもとに開催を提唱  
 >夏季オリンピック第一回大会1896年(アテネ)  
 >近代オリンピックは、国際オリンピック委員会  
 が開催する世界的なスポーツ大会。  
 >夏季と冬季  
 >4年に1度のビッグイベントとして、オリンピッ  
 ク種目の競技者が憧れる大会



6 主な成果

- オリンピアン生の声を聞くことができ、大変刺激を受けることができた。
- 新聞社の取材を受けることで、講演の振り返りができる共に、オリンピアン偉大さを再認識することができた。

S 京築 2018年(平成30年)7月29日(日曜日) 言 宣

**鈴木桂治さん「謙虚さ大切」**  
 五輪柔道金築上の中学生に講演  
 アテネ五輪柔道100キ  
 超級の金メダリストで国士  
 館大准教授の鈴木桂治さん  
 (38)の講演会が、築上町文  
 化会館「コマーレ」で開か  
 れた。  
 県の「オリンピック・パ  
 ラリンピック・ムーブメン  
 ト調査研究事業」の一環で、  
 町立稚田中の生徒を対象に  
 20日に行われた。  
 鈴木さんは選手時代を振  
 り返り、「謙虚でなければ  
 強くなれない。人の話をよ  
 く聞き、自分のものにする  
 ことが成功するためには大  
 切」と話した。  
 また、「できるか、でき  
 ないかではなく、やってみ  
 る」という恩師の言葉を紹  
 介し、「受け身ではなく、  
 やるべきことをしっかりや  
 る。心の持ちようであら  
 なくてもレベルアップできる」  
 と語った。  
 生徒会長の3年内丸恵理  
 さん(14)は「何事において  
 もまずはやってみることに  
 大切さを学んだ」と話して  
 いた。

○ 生徒の感想より

していたことに驚きました。そしてさやっしそうにな。アもあま  
 らめなことが大切なことを改めて思いました。  
 私は小学生のころからバドミントンをしていた。またまたでき  
 ないことが多。一回やっでできなから10回。100回。1000回と  
 やさうと思。鬼強も同じなのかなと思。鬼強も。スホー。生あきらめず。これからみんなは。

	<p>「勉強もスポーツもあきらめずに、頑張ろう。」</p> <p>できるできないについての言葉でした。<u>自分かできないと分か</u>  <u>つて最後までやりとげられることにより、自分自身への成長に</u>  <u>つながっていくことを知りました。</u>また、<u>成功する為の行動、生活、</u>  <u>人間性のことで、先生たちは、自衛隊や茶道をされていたことに</u>  <u>驚きました。</u>やはり自分か始めたことは、<u>あきらめな</u>  <u>い、最後までやりとげること、これからの生活に役立て</u>  <u>ていきたい</u>と思います。今日は本当に鈴木先生の</p> <p>「最後までやり遂げることが自分の成長につながる。」  私は、陸上をしていて、オリンピックにでたいと思ったことは  なかったのですが、夢が、「オリンピックにでる」は、とて格好良  いと思います。夢をしっかりと、それにむかって  <u>行動するのはとて大切で、できなくとも100回</u>  <u>1000回/万回</u>。とて人挑戦していいこと</p> <p>「夢をしっかりとって、それに向かって行動することは大事」  今日の講話で、「<u>できなかったことなどは、10回、100回と</u>  <u>できるまですれば自信や意地がつく</u>」という言葉も聞いて、  私は、勉強や部活、私生活の中でも、誰にでもできない  ことはあると思うので、これからの生活の中では<u>できなかった</u>  <u>ことなどは、自分が納得のいくまでやってみよう</u>と思いました。</p> <p>「自分が納得がいくまでやってみる。」</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ シドニーオリンピックとは縁遠い生徒たちに、シドニーオリンピックで活躍した選手たちを動画で紹介することにより、親近感を持たせることとした。</li> <li>○ 7月という時期を考慮し、本校体育館ではなく、空調設備の完備した町の文化施設をお借りして、講演会を行うことができた。</li> <li>○ 文化施設の広さが十分ではなかったが、生徒のみならず、PTA役員や教育委員会の関係者とともに講演を聞くことができ、オリンピックの啓発を行うことができた。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 費用面のサポートがないと、単独に学校でオリンピックを講演者として招くことは難しい。</li> </ul>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本校では、毎年、男子の武道の授業において、柔道に取り組んでいるので、その授業において、鈴木氏の言葉を引用したりすることで、生徒のやる気を高めたい。</li> </ul>